

キラリ★八代人



上村 美鈴さん (豊原下町)

世界中の子どもたちの絵を展示する「八代市さかもと国際児童画展」が9月14日～23日に坂本町で開催される。今年で3回目となる同絵画展の発起人が坂本町出身の上村美鈴さんだ。

東京で働いていた上村さんは熊本地震直前に生まれ故郷である八代に戻った。横浜青葉国際児童画展に取り組んでいた山本澄子立正大名誉教授を熊本地震後に訪ねた際に、壁に掛けられた世界中の子どもたちの絵が目にとまり、「子どもたちの絵があれば被災した熊本の人も和むかな」と国際児童画展の開催を思いついた。その後、坂本町で行われたまちづくりについて話し合う会合に出席し、提案したところ、坂本住民自治協議会主催で開催することが決まった。

世界中の人たちと一緒に坂本を元気に



▲坂本住民自治協議会の上村明副会長と牧下詠里事務局員と一緒に集った絵を仕分ける

「坂本で国際的なイベントを開催することができて良かった。今後は、集まった絵を県内外の被災地や過疎地などにも貸し出して活用できたらいいな」とさらなる目標を語る。

今年坂本コミュニティセンター、道の駅さかもと、温泉センタークレオンの3会場で日本を含む23カ国から集めた約1000点を展示し、11月には熊本市と北海道小樽市での巡回展も予定している。

「子どもたちには絵を描くこととおして創造する楽しさを知ってほしい」と笑顔で話す上村さん。「現在、私が行っている海外とのやり取りを今後は子どもたちが中心となってい、学校同士のつながりができればいいな」。

これからも八代と世界をつなぐ架け橋となるために奔走していく。

先輩社員の声

- ・人と人とのつながりを重視したあたたかみのあるコミュニケーションを大切にしながら仕事に取り組んでいます。自分がやりたいことを積極的にチャレンジできる環境にあるのでやりがいを感じます。(取締役・女性・44歳)
- ・会社の中での会話がが多く、とても仕事がしやすいです。他の社員の人も魅力ある人がそろっているのとても頼りがいがあります。(アカウントマネージャー・男性・34歳)



社長メッセージ

当社は「新しいまちづくり構想」をテーマにイノベーションを起こし、地域活性化に取り組んでいきます。その手段としてITを活用し首都圏と地方との情報格差を縮めていければと思います。八代オフィスには主にSNSの運用機能を設けます。八代での雇用を積極的に行うなど地域活性化に寄与していきたいです。



発見★元気印の会社 17

今月の元気印の会社は4月23日に本市と立地協定を締結した「株式会社 MARUKU」です。



《会社概要》 株式会社 MARUKU 八代オフィス

代表取締役 小山 光由樹
所在地 八代市本町 1-9-15
☎ 0967-72-9190 (代表)

HP <https://maruku.biz/>

従業員数 5人

事業内容 ソーシャルメディアマーケティング事業
Web制作など

